

平成30年 8月10日
国土交通省
山国川河川事務所

山国川中下流域水利用連絡協議会（代表幹事会）の開催結果

山国川流域では梅雨明け以降が小雨傾向となっております。

耶馬溪ダムにおいては、農業用水・上水道等の用水確保と山国川の流水の正常な機能を維持するため、7月18日よりダムに貯めている水を補給しており、貯水率の低下が続いております。

そのため、これからの水利用について協議するため、山国川中下流域水利用連絡協議会（代表幹事会）を平成30年8月9日に開催し、水利用の調整等について協議を行いました。

今後更に降雨のない状態が続き耶馬溪ダムの貯水率が50%を下回った場合、委員会を開催し、以降の水利用について協議を行います。

1. 山国川中下流域水利用連絡協議会（代表幹事会）の開催結果について
別紙のとおり
2. 耶馬溪ダムの貯水率
66.9%（8月10日9時00分現在）
3. 耶馬溪ダムの放流量、流入量（8月10日9時00分現在）
放流量：2.86立方メートル／秒
流入量：0.41立方メートル／秒

問い合わせ先

山国川中下流域水利用連絡協議会事務局

国土交通省山国川河川事務所（電話0979-24-0571）

技術副所長 井上 幸治（内線204）

管理課長 熊井 教寿（内線331）

平成30年度 山国川中下流域水利用連絡協議会(代表幹事会)

日 時 : 平成30年8月9日 14時～

場 所 : 山国川河川事務所 1F会議室

出席者 : 山国川河川事務所、福岡県 行橋農林事務所、大分県 北部振興局、
中津市、吉富町、上毛町、中津市上下水道部、北九州市上下水道局、
京築地区水道企業団、荒瀬井堰土地改良区、大井手堰土地改良区、
上唐原水利土木協議会、吉富町土地改良区、
田辺三菱製薬工場(株)吉富工場

協議会(代表幹事会)における決定事項

- 1) 山国川流域における降雨状況及び耶馬溪ダムの状況を勘案し、自主節水に努める。
- 2) さらにダム貯水率が下がった(概ね50%)場合は委員会を開催し、以降の水利用について協議を行う。